

長浜市図書館基本計画実施プラン 令和6年度事業評価書

令和7年9月

長浜市立図書館

評価基準

- A 計画以上の取組みをおこない、目標を超える成果があった(100%超え)
- B おおむね計画に沿って実施し、課題はあるが、目標を達成できた(80%以上~100%)
- C 実施したが、課題が多い(50%以上~80%未満)
- D ほとんど実施できなかった(50%未満)

令和 6 年度の図書館事業評価を終えて

令和 6 年度図書館事業評価の結果を報告する。評価の対象は、『長浜市図書館基本計画実施プラン』で設定されている 20 の指標項目である。評価にあたっては、図書館協議会のなかに設置した小委員会が、図書館職員に対する詳細なヒアリングを行いながら、評価の原案を作成した。その原案について、図書館協議会のメンバー全員が参加して検討を行い、若干の修正を加えて成案としたのが本報告である。

それぞれの指標項目は、A から D の 4 段階で評価してある。結果の全体を概観すると、20 の指標項目に対して A 評価（8）、B 評価（7）、C 評価（5）、D 評価（0）という結果であった。A 評価と B 評価を合計すると、20 の指標項目のうちの 15 項目（75%）に達している。また今回評価においては、D 評価の項目が全くない。これらのことから、長浜市立図書館では、望ましい図書館サービスが提供されているものと判断できる。

残念な点としては、指標項目「個人貸出冊数」の減少があげられる。目標値（年間 100 万冊）に対して、実績値が大きく下回る状態が長年にわたって続いている。令和 5 年度評価でも指摘したように、長浜市立図書館ならではの解決策を考案していただきたい。

令和 8 年度は『長浜市図書館基本計画（第 2 期）』の計画最終年度となる。本報告の内容が今後、図書館をはじめとする市の関係部門職員によって共有され、また広く市民による理解と支持を得て、本市図書館事業の一層の進展に寄与することを期待する。

最後に、本評価のための「ヒアリングと原案作成」には 2 日間を要したと伺った。これに携わった小委員会のみなさまと図書館職員に感謝する。

長浜市図書館協議会

会長 山本 昭和

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標Ⅰ】市民の役に立つ図書館

		令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	Ⅰ 個人貸出冊数	1,000,000 冊	819,381 冊
R6重点的に取り組む目標	暮らしに役立つ資料や関心の高い資料、児童向け資料を幅広く収集します。		
重点的に取り組んだ項目	①長浜図書館では資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。	令和6年度達成状況	
成果	通常の新刊選書とは別に、テーマの本棚（働く・愉しむ）用の資料を購入し、書架をより幅広いラインナップに拡充しました。また、園向け団体貸出用の絵本、単元学習用資料、学校向け団体貸出用資料も収集し、ニーズに応えました。 経験年数2年以下の職員8人に選書研修を実施し、選書スキルを向上させることができました。		B
課題	個人貸出冊数の増加に向けて、市民ニーズへのより迅速かつ的確な対応と、図書館利用の裾野を広げることに重点的に取り組む必要があります。 資料面ではタイトル数を重視し、複本購入を抑えめだったことから、利用者の読みたい気持ちを支えるための複本購入を進め、利用機会の損失を最小限に抑える必要があります。汚れや破れがあるなど状態は悪いが利用頻度の高い資料は常に良好な状態で提供できるよう計画的に買い替えを検討する必要があります。また、近年ニーズの高まっている大活字資料をさらに充実させ、重点的に広報する必要があります。 図書館利用のきっかけとなるよう、他課や関係機関との連携事業や企画展示などを積極的におこなっていますが、それらの周知が不十分でした。事業や展示内容をより工夫することとあわせて、SNS等を活用し、関連機関と連携して広報活動に力を入れることも必要です。 令和7年度は図書館コンピュータシステムの更新にあわせて、新たなサービスの提供を開始する予定です。見やすいホームページ、アプリと連携した読書管理サービス、オーディオブック、デジタルアーカイブなどより多くの市民の利便性を高め、新たな利用の裾野を広げ貸出冊数増加につなげる必要があります。		
委員意見	人口減、市民の利用の仕方の変化などがみてとれるなかで、少しでも貸出冊数を増やす工夫や取組をしてほしい。そのための議論を職員間で続け、改善の努力が必要である。	外部評価	
		B	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	2	予約・リクエスト年間受付件数	168,000	件	190,488	件
R6重点的に取組む目標		予約件数の多い資料、提供の遅れている資料を速やかに提供し、利用者の要求に応えます。				
重点的に取り組んだ項目		①長浜図書館では資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。			令和6年度達成状況	
成果		予約の多数入った資料や提供の遅れている資料の複本購入を積極的にすすめました。購入できない資料は、県内外の図書館との相互貸借制度を利用して資料を借り受けることで、利用者の要求に迅速に応えました。			A	
課題		予約やリクエストのあった資料が確実に利用者に届くよう、提供の進捗状況を把握している必要があります。				
委員意見		予約件数の増加を、利用者の資料要求に応えられているかどうかを含めて分析し、活かしてほしい。気軽に予約やリクエストができる雰囲気づくりや周知に努められたい。			外部評価	
					A	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	3	自主講座や展示の年間開催数	14	回	15	回
R6重点的に取組む目標		来館のきっかけになるような講座や展示をおこない、図書館利用につなげます。				
重点的に取り組んだ項目		④生活の課題を解決するヒントとなり、学習や活動のきっかけとなるような講座や展示を行います。			令和6年度達成状況	
成果		音訳・乳幼児サービスのボランティア育成のための講座や、学校の長期休暇に合わせて資料の展示をおこないました。新たに、今後の対面朗読サービスにつながるように耳で愉しむ読書の体験の機会を設け、参加者から好評の声を受け、出演したボランティアの今後の活動意欲を高めることができました。			A	
課題		未利用者のニーズを把握し、実際の来館やその後の利用につなげる必要があります。				
委員意見		目標の開催回数は超えているので、今後は内容の充実も含めて維持して欲しい。			外部評価	
					A	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	4	レファレンス事例のHP公開数	15	件	15	件
R6重点的に取組む目標		地域編8件、児童編7件の事例を公表します。				
重点的に取り組んだ項目		⑥レファレンス事例や回答例のデータ蓄積を進め、活用します。			令和6年度達成状況	
成果		図書館ホームページで、地域編8件、児童編7件の事例を公開しました。特に、児童編は湖北の民話・昔話をとりあげ、郷土に親しみを持ってもらえる内容でレファレンスサービスを周知しました。また、レファレンス初級研修を経験年数1年未満の職員6人に実施しました。全体研修では、レファレンスインタビュー研修を実施しました。研修により職員のレベルアップにつながりました。			B	
課題		初任者に対しての研修は充実させることができませんでしたが、経験やスキルに応じた中級・上級者向けの研修が必要です。				
委員意見		着実に事例公開ができています。 まだレファレンスサービスになじみのうすい利用者に、図書館の使い方などもあわせて周知して欲しい。			外部評価	
					A	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標2】だれもが利用できる図書館

		令和6年度目標値		令和6年度実績		
指標項目	I	実利用者率	15	%	13	%
R6重点的に取組む目標		図書館から遠い地域に住む人々や交通手段を持たない人が使いやすくなるような図書館サービスを新規に立ち上げ、実施します。				
重点的に取り組んだ項目		①図書館から遠い地域に住む人々や交通手段を持たない人に対して、宅配サービスや移動図書館の導入など、図書館へ行かなくてもサービスを受けることができる方法を検討します。			令和6年度達成状況	
成果		市内を走る移動販売車（生活協同組合コープしが・株式会社平和堂による）で、図書館の資料を返却できる新たなサービスの実証実験を3月から開始しました。既存のサービスを活用して図書館サービスの提供に結び付けることができました。			B	
課題		実証実験の結果を十分検証し、本格実施につなげる必要があります。				
委員意見		返却のハードルを下げる新しい取組として新サービスの開始は評価できる。図書館の未利用者、とりわけ図書館から遠い人にも使ってもらえるように、また一度利用されたらリピーターになってもらえるように、利用の低い年代層へ重点的に働きかけてはどうか。			外部評価	
					B	

		令和6年度目標値		令和6年度実績		
指標項目	2	郵送・貸出点数	350	点	194	点
R6重点的に取り組む目標	しょうがいのある本人だけではなく、家族や支援者にもサービスを周知できるように、広報に力を入れます。					
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など、図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。				令和6年度達成状況	
成果	郵送貸出の利用は貸出点数が減少したものの、新たな利用者が2人増加しました。 また、しょうがいのある人だけでなく、家族や支援者にも対面朗読や郵送貸出などの図書館サービスを周知するため、「耳で愉しむ読書体験会」を開催しました。市の広報紙や関係機関を通じてお知らせしたことで、これまで利用のなかった人が参加され、図書館のサービスにふれる機会となりました。				B	
課題	郵送貸出サービスを知ってもらうため、広報や関連機関との連携を強化する必要があります。利用しやすくする工夫やイベントなどでの紹介を通じて、利用促進と継続的な利用につなげることが大切です。					
委員意見	本サービスは利用者個人の事情によるところが大きいですが、求められている大事なサービスなので、関係課やボランティアと連携して地道にすすめてほしい。				外部評価	
					B	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	3	関係課や機関と連携した年間事業数	5	件	8	件
R6重点的に取り組む目標	関係課や機関と連携し、展示とそれに関連した事業を実施します。					
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など、図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。				令和6年度達成状況	
成果	年間を通じて人権施策推進課、健康推進課、長寿推進課、こども家庭支援課、しょうがい福祉課、発達支援室と連携した展示や事業を8回実施しました。その中で、6月に健康推進課と一緒に実施した「食育啓発月間」行事では、対象を子どもだけでなく大人にも広げたことであらゆる世代に向けた展示をするができました。また、議会図書室機能を充実させるため、調査研究活動に役立つ資料の提供を4回（認知症、地方創生、地域医療、国スポ・障スポ）おこない、様々な資料を紹介することができました。				A	
課題	連携事業に取り組むことで図書館サービスを知ってもらえるよう、今後も多種多様な機関と連携した展示や事業をおこなうことが必要です。					
委員意見	産業や建設などの違う分野とも積極的に関係をつくり、幅広い内容で展開することを考えていってほしい。				外部評価	
					A	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標3】子どもが本と親しめる図書館

		令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	I	園への団体貸出数	3,000冊	2,331冊	
R6重点的に取り組む目標		関係課と連携し園向けサービスの周知をおこない、未利用の園の利活用の促進をめざします。			
重点的に取り組んだ項目		⑤読書環境や読み聞かせ環境の整備など、園への支援を強化します。		令和6年度達成状況	
成果		教職員向けの研修会において、園向けの図書館サービスについてお知らせしました。団体貸出は、公立・私立園13園から2,331冊利用されました。また、「えほんのひろば」は園で13回利用され、乳幼児が絵本に親しむ機会を提供することができました。		C	
課題		各種のお知らせを確実に届けることができるデジタルツールを利用し、図書館の園向けサービスの周知や啓発をおこない、公立私立企業型を問わず、さまざまな園に利用してもらうよう働きかける必要があります。			
委員意見		利用する園は増えており、園利用が見込まれる資料も確保できているので、引き続き、質が落ちないように資料の鮮度を保って提供されたい。		外部評価	
				B	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	2	小学4～6年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	7.8	%	14.4	%
R6重点的に取組む目標		自由読書や調べ学習を支援するために団体貸出件数の増加をめざします。				
重点的に取り組んだ項目		②子どもたちの本を活用した学習活動や図書館見学また職場体験等の機会を通じて、生涯にわたる図書館利用の礎を築きます。			令和6年度達成状況	
成果		5月から学校貸出し資料配送事業を開始しました。このことで、学校からの依頼に応じて図書館の本を貸し出す団体貸出が活発に利用され、特に単元学習用の団体貸出では、これまで利用のなかった学校からも申し込みがあり児童の学習を支援することができました。			C	
課題		教科書改訂により、新規の単元の学習用資料が不足することがありました。多様化、細分化する学校からの資料要求に応えられるよう、学習の傾向をつかんだ選書をする必要があります。学校向けサービスを周知し、申し込みのない学校に利用促進を図る必要があります。				
委員意見		図書館、学校及び家庭から、読書の楽しさや面白さを子どもたちへ伝えていくことを続けなければならない。読書量の底上げは難しいが、読書活動が幼児期から学童期へ繋がるよう、関係課と連携することが大切である。			外部評価	
					C	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	3	中学1～3年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	30	%	48.6	%
R6重点的に取組む目標		読書や貸出につながるような展示・書架づくりや公式Xを活用した広報をおこないます。				
重点的に取り組んだ項目		⑦YA 世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組を行います。			令和6年度達成状況	
成果		夏休みと春休みの時期に合わせ、各図書館のYAコーナーの本を入れ替えて目新しくしたり、夏休みにおすすめ本「今日の1冊」を入れ替えて展示し、対象者の興味関心をひく取組をおこないました。また、職場体験で受け入れた生徒におすすめの本を紹介してもらい、同世代の子どもたちに向けた効果的なコーナーづくりを実施し、本に興味を持つきっかけを作ることができました。			C	
課題		小学生世代と比較すると不読率が増加傾向にあり、図書館への来館の機会も遠のいています。また、団体貸出の利用も小学校に比べて少ないため、学校への周知を引き続き実施し、より一層本に親しむことができるよう、関係各課へも働きかけることが重要です。				
委員意見		身近に本があると、手に取るきっかけとなるので学校と連携して取り組まれない。図書館では、来館につながるように取組をすすめてほしい。			外部評価	
					C	

			令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	4	13～18歳の利用者への貸出冊数	35,000冊	25,980冊
R6重点的に取り組む目標	若者の、図書館や読書への興味・関心が高まる事業・企画を実施し、図書館利用を増やします。			
重点的に取り組んだ項目	⑦YA世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組を行います。			令和6年度達成状況
成果	近隣の大学と連携して、本を活用した謎解きイベント「長浜図書館の不思議な扉」「マボロシの図書館サーカス」を実施し、来館誘致を図り、のべ約460人が参加しました。「POP・本の帯コンクール」では、昨年度に引き続き500件を超える応募があり(R5年度560件・R6年度550件)、本に親しんでもらう機会をつくることができました。			C
課題	対象者の関心をひきつけるイベントや展示により、貸出冊数は昨年度よりも増加しましたが(R5年度25,150冊・R6年度25,980冊)、目標冊数に達成することができませんでした。対象者への効果的な広報媒体を利用して啓発する必要があります。			
委員意見	継続的に情報を届けることが必要ではないか。図書館への来館を促す情報を発信し続けてほしい。			外部評価
				C

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標4】まちの魅力を発信し、地域の文化的な拠点となる図書館

			令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	I	デジタルアーカイブ資料数	0点	0点
R6重点的に取り組む目標	次期図書館コンピュータシステム調達でデジタルアーカイブ機能を要件とします。			
重点的に取り組んだ項目	③図書館が所蔵する地域の貴重資料のデジタルアーカイブ化を推進します。			令和6年度達成状況
成果	図書館システムの更新に向けてプロポーザル方式で業者選定を実施し、デジタルアーカイブの構築が標準装備されているシステムを採用することができました。			C
課題	令和7年10月に予定しているコンピュータシステムの更新に向けて、デジタルアーカイブ化する資料の選択と機器操作・登録作業等の職員研修が必要です。			
委員意見	次期コンピュータシステムで実現できるよう、着実に準備をすすめてほしい。			外部評価
				C

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	2	博物館や資料館と連携した年間事業数	2	回	2	回
R6重点的に取組む目標		博物館・資料館などと連携し、企画展示と関連のある資料の展示を実施します。				
重点的に取り組んだ項目		⑤博物館や資料館の企画行事と関連付けた資料提供や展示を行います。			令和6年度達成状況	
成果		長浜城歴史博物館と連携した「H-Iグランプリ(歴史の自由研究コンクール)優秀作品展示」で、長浜市の歴史に限らず市の保存樹や琵琶湖に関する資料も紹介することができました。また、長浜城歴史博物館の「鉄砲の歴史からのぞく国友と堺展示」にあわせて「長浜のモノづくり展示」をおこない、郷土の歴史を市民に紹介することができました。			B	
課題		資料を紹介する際には、引き続き、司書の専門性を活かした広い視点で選書する必要があります。				
委員意見		年間を通じて開催されている歴史講座などの機会に関連本を展示する、または主催者に資料を紹介してもらえよう図書館から働きかけるなど、中身を充実させていってほしい。			外部評価	
					B	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標5】市民とともにつくる図書館

			令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	I	市民との協働事業の年間開催数	6回	16回
R6重点的に取り組む目標	市民の協力を得た事業開催や市民の主催事業の支援などで、市民協働を促進します。			
重点的に取り組んだ項目	①市民の協力を得て事業を開催したり、市民の主催事業を図書館が支援したりして、市民の図書館運営への参画を促進します。			令和6年度達成状況
成果	市民団体と共催で、読書会を6回開催しました。また、長浜まちなか地域づくり連合会と協働で、子ども対象の新規事業（自由に本を手にとって楽しむことができる「のんびりえほんひろば」）を9回おこないました。長浜まちなかフェスタ実行委員会の一員として、市民団体と協働で会場内を巡るスタンプラリーもおこないました。各事業が、幅広い世代の来館のきっかけになりました。			A
課題	市民の生きがいづくりや未利用者への来館のきっかけとなるよう、市民との協働事業を引き続きおこなう必要があります。			
委員意見	たくさんの協働事業ができています。このことが貸出利用につながるよう、一工夫されたい。			外部評価
				A

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	2	登録ボランティア数	70	人	82	人
R6重点的に取り組む目標		市民が参加しやすいメニューでボランティア活動が継続できるよう、サポートします。				
重点的に取り組んだ項目		②図書館を拠点として活動するボランティアが継続し安定して活動できるように支援します。			令和6年度達成状況	
成果		蔵書点検作業や学校貸出し資料配送便の準備、雑誌のリサイクルフェア準備のほか、本の修理、装備、排架や自宅作業などで活動していただきました。日常業務で必要なものを依頼できる仕組みを整えたことで、継続して活動してくださる人が増えました。広報ながはまやZTVでボランティア募集を呼びかけ、新規登録者が16人増えました。			A	
課題		やりがいのある活動となるよう、個々の事情に合わせてメニューを改善していく柔軟さが必要です。				
委員意見		登録者数や活動内容だけでなく、図書館の役割や市民協働についても市民に理解してもらう努力を続けてほしい。			外部評価	
					A	

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	3	市民の展示や活動発表の場の年間提供数	3	回	6	回
R6重点的に取り組む目標	個人や団体の作品展示や活動発表の場を提供し、サポートします。					
重点的に取り組んだ項目	⑤個人や団体が、作品を展示したり活動を発表したりできる市民の交流の場を提供します。				令和6年度達成状況	
成果	学校の学習成果物や市民の作品展示などで、市民交流の場を提供しました。展示物に合わせて図書館所蔵の関連資料も並べるなど、市民の生涯学習に役立てました。				A	
課題	図書館が情報発信の場であることを知ってもらうため、開催中の展示を紹介するなどPRを強化する必要があります。					
委員意見	図書館のスペースを有効活用し、児童生徒の学習発表展示をしてもらうなど、まだまだ広がりが期待できる。				外部評価	
					A	

図書館基本計画実施プラン 評価シート

1.市民の身近に図書館サービスがある体制づくり

		令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	I	サービスポイント数	3点
R6重点的に取り組む目標	余呉まちづくりセンターとよご認定こども園での円滑なサービス提供を目指します。		
重点的に取り組んだ項目	①市内全域で同じサービスを受けられる仕組みを構築します。		令和6年度達成状況
成果	余呉まちづくりセンターで資料の入れ替えを頻回におこないながら、常時700冊を設置しました。毎月約200冊ずつ入れ替えながら年間総数2,000冊を配本し、約2,000冊の資料を貸し出すことができました。よご認定こども園には年間計1,200冊の資料を配本し、子どもと保護者が一緒に絵本に親しむことができました。(貸出冊数750冊)		B
課題	毎月資料の入れ替えを実施しましたが、図書館コンピュータシステムが配置されていないため現場の状況を把握することが困難でした。システムを配置することで業務を効率化せさることが必要です。		
委員意見	図書館サービスを市民の身近に届けるため、状況の変化などをみながら、様々な手法を検討してほしい。		外部評価
			B

2.全体規模と各図書館の役割の見直し

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	I	蔵書更新率	11.3	%	10.7	%
R6重点的に取り組む目標		各館の蔵書構成を配慮しながら選別をすすめます。				
重点的に取り組んだ項目		②各図書館の役割と蔵書内容を見直します。			令和6年度達成状況	
成果		選別のための初級研修(10人参加)を実施したことで、全館で効果的に取り組むことができ、内容の古い本や著しく劣化した資料を約62,000冊除籍できました。			C	
課題		全体的な選別は進んできましたが、館によって進捗に差があります。状態の良い資料を活かすため、各館の資料を比較して選別する必要があります。				
委員意見		基準に基づいて慎重に資料選別をおこない、魅力的な棚づくりをしてほしい。全体的な視野で資料を見ることが必要である。			外部評価	
					C	

3.質の高い図書館サービスの継続的な提供

			令和6年度目標値	令和6年度実績
指標項目	I	専門研修の年間受講者のべ人数	35人	50人
R6重点的に取組む目標	ZOOM受講も採り入れながら、経験年数に合わせた研修を受講します			
重点的に取り組んだ項目	①職員の資質向上を図ります			令和6年度達成状況
成果	国立国会図書館の職員を講師に、資料保存研修を開催し、全職員が資料保存や修理に関する基本的な考え方を学びました。修理実習もおこない、技術も学ぶことができました。			A
課題	資料保存研修で学んだ基本的技術を日々の実践に活かすことが大切です。他の研修でも、学んだことを実践し、図書館サービスの向上につなげていく必要があります。			
委員意見	今後も学びを実感できるような研修を継続し、サービスの向上に努めてほしい。			外部評価
				A

			令和6年度目標値		令和6年度実績	
指標項目	2	報道機関への年間情報提供数	45	件	40	件
R6重点的に取組む目標		SNSやホームページ等を活用し、様々な図書館の活動を広報します				
重点的に取り組んだ項目		③図書館の発信力を強化します。			令和6年度達成状況	
成果		報道機関への情報提供回数は目標に届きませんでした が、新たな情報発信方法として市の公式Face book（外国語版）で図書館の利用について英語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語で発信し、外国人市民へ外国語資料の新着情報や図書館の利用案内を届けることができました。			B	
課題		発信内容に対して効果的な媒体・メディアを選択し、欲しい人に欲しい情報を確実に届けられる情報発信を継続する必要があります。				
委員意見		図書館のもつ情報発信媒体を活用しながら、他の媒体なども使って発信してほしい。	外部評価			
			B			